

にぎわい創出拠点の市民ワークショップ(第1回)

〔テーマ〕にぎわいを生み出すために…にぎわい創出拠点への期待と“にぎわい”の姿

◇開催年月日・時間:令和7年8月9日(土)14:00~16:45

◇開催場所:地域交流センター赤石楽舎 会議室

◇参加者:参加者計18名(1班5名+2班6名+3班7名)

コーディネーター1名+ファシリテーター3名+アシスタント5名

市役所事務局3名+図書館課2名+職員課2名

見学3名

I 開会・はじめに・対象地の確認

(1) 中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)について

- ◇ これまでの検討経緯についての説明
- ◇ 中心市街地の3つの核…にぎわいの核×文教学びの核×子育ての核
- ◇ 基本理念(案)

中心市街地にあらゆる世代の人々が集い、憩い、交流できる「にぎわい拠点」

- ◇ 基本方針(案)…[まなびあい]×[なりわい]×[にぎわい]

中心市街地にぎわい創出拠点整備で目指すもの

本市は、伊勢崎駅周辺の基盤整備による中心市街地の再生や活性化の取り組みを進めています。伊勢崎織物協同組合の所有地(曲輪町)と周辺の市有地を一体的に活用し、中心市街地にぎわい創出拠点の整備を開始します。

この拠点を中心市街地の「文教学びの核」として整備することで「にぎわいの核」(伊勢崎駅南口駅前広場を含む南口エリア)と「子育ての核」(保健センター)を合わせた「まちなかの3つの核」を形成し、人が集まるまちなかの創出を目指します。



2025年(令和7年)6月号

(2) にぎわい創出拠点の市民ワークショップのスケジュールについて

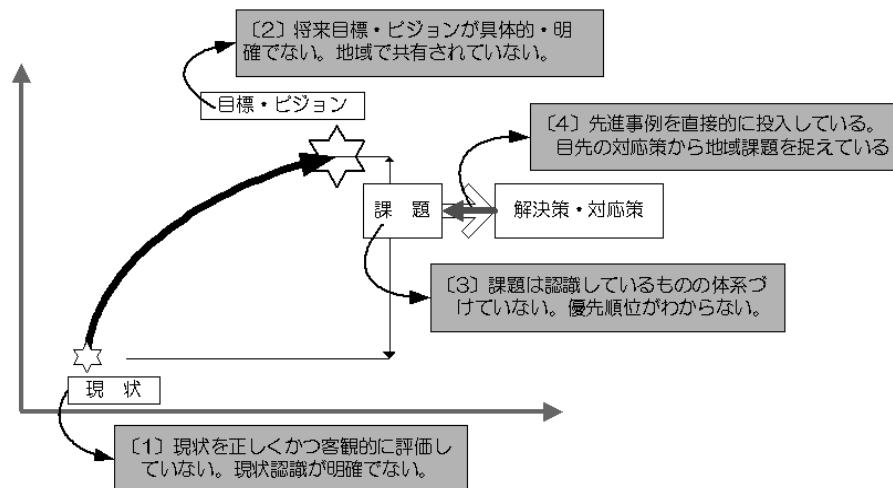
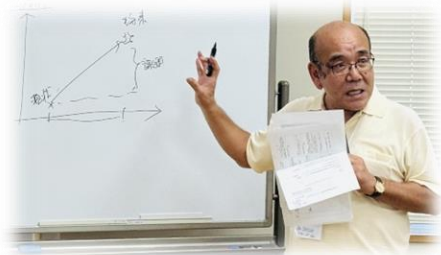
(3) 対象地の確認



Ⅱ 講座・話題提供・・・『構想づくりのポイント』(コーディネーター:大下茂氏)

(1)構想づくりのポイント

- 構想づくりに必要なことは、①現状を正しく評価して明確にすること、②将来目標を具体的に描き共有すること、③現状と将来目標とのギャップを課題として捉えて体系づけることにある(下図参照)。
- その中でも特に大切なことは「将来目標」であり、時代に即した「明確なビジョン」をもち共有することである。
- 「目標像」には、①志が高く・正しいこと、②人の姿・地域の姿が見える目標とすること、③目標には「夢」が含まれわかりやすいこと、④ニーズがあること、⑤地域の目線や地域の言葉で示されていることがポイントである。
- そのようなことから、にぎわい創出拠点を訪れる人々が活動している“姿”を示し共有することが重要となる。



正しく・客観的に地域の課題を認識・共有化できないことの問題点の所在

(2)本日のワークショップのテーマとルール

- 本日は初回のワークショップのため以下の 5 つの留意点・ルールを守っていただいて自由な意見交換をお願いしたい。魅力的な拠点の将来の姿を語るため、参加いただいた皆さま自身が、楽しんで多くのアイデアをいただきたい。
- 本日のテーマは、①にぎわい創出の拠点到期待すること、②対象地でどのような“にぎわい”の姿がイメージされるか?、の二つとする。

ワークショップの 5 つの留意点・ルール

- ①意見を否定しない
- ②同じ意見でも自分の言葉で
- ③ひとりで長く話をしない
- ④陳情(苦情)の機会ではない
- ⑤自らが“楽しんで”

楽しく時間を共有しましょう!!(大下)

Ⅲ 各班の討議の取りまとめと総括

(1) 臂市長からのワークショップ参加へのお礼



全4回のワークショップに参加いただき感謝申し上げます。このにぎわい創出拠点は、構想づくりから実現(建設・管理)に至るまで、官民連携の手法による伊勢崎市にとって初めての取り組みです。このにぎわい創出拠点を つくること自体がゴールではなく、市民の方々にどのように利用していただくかが大切です。また、他の2つのにぎわい拠点を はじめとして中心市街地の回遊につなげたいと思っています。市民の皆さまが「自分たちの施設」であると感じていただき、拠点創出後にも、様々な関りをもっていただけるようにしたいと思っています(抄)。

(2) 各班での討議内容の共有(発表)後の総括(コーディネーター:大下茂氏)

〔ポイント①〕 目標をどこに置くかが大切…整備後の活用・市民の関わりこそが重要!!

「伊勢崎に生まれてよかった」と思える拠点整備との意見があったが、拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後、様々な方々が施設を訪れ、思い思いの活動をする場所として利用されることが大切である。目標として、今の若者・学生たちが家庭をもって、3世代で訪れる姿もイメージしたい。

〔ポイント②〕 拠点完結ではなく拠点からの“にじみ出し”が大切、回遊を誘発することにも!!

すべての活動ができる機能・サービスをこの拠点に詰め込むのではなく、駅前や本町通り等、周辺へと“にじみ出す”ことも大切。それにより中心市街地での回遊が生まれてくるものとなる。

〔ポイント③〕 安心感を生むためには災害への備えは必須!!

“安心感のある拠点”となることを期待する背景には、安全・安心な拠点を形成することにある。そのためには災害への備えも必要である。酷暑への対応も、災害級の酷暑とすれば、災害への備えの一つといえる。今後の公共施設の整備においては、緊急時の来訪者への安全確保は必須であり、最低限の防災機能は備えておくことが必要である。

〔ポイント④〕 構想づくりには「理想」が必要、妄想することが理想を生み出す

構想には、「理想」を盛り込む必要がある。本日の意見の中では、駅前からの水路整備や足湯等は一見すると荒唐無稽のアイデアとも捉えられるかもしれない。しかし、類例をみないアイデアの多くは、妄想・空想ともいえる思考から生まれるものであるとともに、その思考は地域の魅力づけともなる。妄想こそが理想を生み出す源泉であり、今後も妄想を重ねていただきたい。

(3)各班での討議内容の取りまとめ

>>>にぎわい創出拠点に期待すること<<<<

にぎわいを生む要素	□人がたくさんいること ◇ 「家族全員が…」「お年寄りと子どもが…」「親子で…」 ◇ 「子どもたちだけ」でも楽しめる ◇ 「女性」が行きたくなる ◇ 「ひとりでも」 ◇ 「ペットと一緒に」 等 □気軽に訪れることができること／一人でも気まずくないこと □行きやすいこと(交通の充実/安心・安全/夜遅くても……) □若者の気を惹く(ウケる・映える)こと □食&ショッピングが楽しめること 
イメージ ・キャッチ	□サードプレイス(第3の自分の居場所) □気軽に立ち寄れる場所に／ゆっくりと楽しめる場所に／時間をつぶせる場所に… 『笑顔』『会話・交流(世代を超えた交流)』『つながり』『学習』『共生』『文化・情報』『わくわく』『懐かしさ』『多文化共生(外国人も楽しめる)』『参加性』
にぎわい創出拠点により生み出すもの	□経済の持続と発展 □伊勢崎を自慢できる／全国から注目される □伊勢崎の歴史がわかる □子育てしやすい □子ども一人でも楽しめる □ものづくり(織物)の町としての再生 □施設内だけでなく屋外でも楽しめる □周辺(駅周辺や本町通り等)への回遊も～

>>>イメージされるにぎわいの姿<<<

全体イメージ	☐ 行ってみたくなる施設に!!／みんなが楽しめる施設に!!／周辺とのつながりを!!／「この町に生まれてよかった」と感じられる空間を!! ☐ 環境に配慮しオシャレな施設に(見栄えは大切!!) ☐ 自慢できる拠点に ☐ 赤石楽舎と連動した拠点整備を……
図書館・情報	☐ 静かな場所と話のできる場所を区切った施設／勉強や仕事ができる空間／学習室の充実／ソファの設置 ☐ 体験型施設／VR コーナー／趣味の部屋／無料ジム ☐ 明るくて広いエントランス／みはらしの良い屋上空間／壁面活用 ☐ 購入もできる図書館／本屋の併設 ☐ カフェ併設／食べながら学習できる図書館／睡眠コーナー ☐ イベント開催(映画鑑賞、読み聞かせ、地元作家・著名人の講演等) ☐ 外国人居住者の母国の本の充実 ☐ 開館時間の延長化・365 日開館を希望 等
織物文化・銘仙	☐ 織物文化として…「文化継承だけでなく新たな文化として展開」 ☐ デジタル技術の活用／ガイド解説 ☐ 銘仙リバイバル:織物体験、銘仙を使ったりメイク古着(SNS 映え) ☐ 銘仙を活かしたものづくりワークショップ・グッズの創出 ☐ 銘仙のファッションショー開催、お土産物の販売 等
創業・チャレンジ	☐ 創業・チャレンジ…NPO 等が使える貸し会議室／創業の相談窓口／コワーキングスペースの充実 等
広場・屋外空間	☐ BBQ 広場／屋台・縁日／チェアリング／キャンプ／ピクニック／持ち花火／水遊び・噴水広場等 ☐ スポーツ交流／3on3 バスケット ☐ 音楽イベント・ステージ／桐生祭りのように踊りの場として ☐ キッチンカーによる食の提供／食(地粉をつかったうどんコーナー、やきまんじゅうカフェ) ☐ ドッグラン ☐ 古着等のフリマ ☐ くわまる等のキャラクターと遊ぶ、大道芸人が活躍する場 ☐ 屋外映画館／パブリックビューイング ☐ 足湯(冷・温、ナイト足湯、流れる足湯、足湯カフェ、足湯 BAR) ☐ 自然との一体感／自然豊かな空間／憩いの空間 ☐ 遅くまで利用できるバスの運行を!! 等
まちなか (にじみ出し)	☐ レンタサイクルの設置 ☐ 循環バスによる駐車場との連携(地域外の駐車場とのシャトル運転) ☐ 伊勢崎駅からのアプローチに街路樹を!! ☐ 駅前から拠点につながる水路、駅前温泉施設

第①班の成果・発表



【賑わい創出拠点に“期待”すること】

- ✧ 「家族全員が…」 「お年寄りと子どもが…」 「親子で…」 等、様々な人が集え、楽しめる
- ✧ 気軽に立ち寄れる場所に／ゆっくりと楽しめる場所に／時間をつぶせる場所に…
- ✧ 施設内だけでなく屋外でも楽しめる／周辺(駅周辺や本町通り等)への回遊も～
- ✧ 伊勢崎の歴史がわかる場所に
- ✧ 若者・学生が利用しやすい場所、若者の気を惹く(ウケる)場所に 等

【イメージされる賑わいの姿】

- ✧ 行ってみたくなる施設に!!／みんなが楽しめる施設に!!／周辺とのつながりを!!
- ✧ 図書館…静かな場所と話のできる場所を区切った施設、映える図書館に、地元作家の講演・イベント等も、購入もできる図書館、食べながら学習できる 等
- ✧ 銘仙…銘仙のファッションショー開催、お土産物の販売、ガイド解説 等
- ✧ 屋外・広場が大切…憩いの空間(カフェ、水辺、チェアリング、キャンプ、ピクニック等)、食・キッチンカー、自然との一体感、遅くまで利用できるバスの運行を!! 等





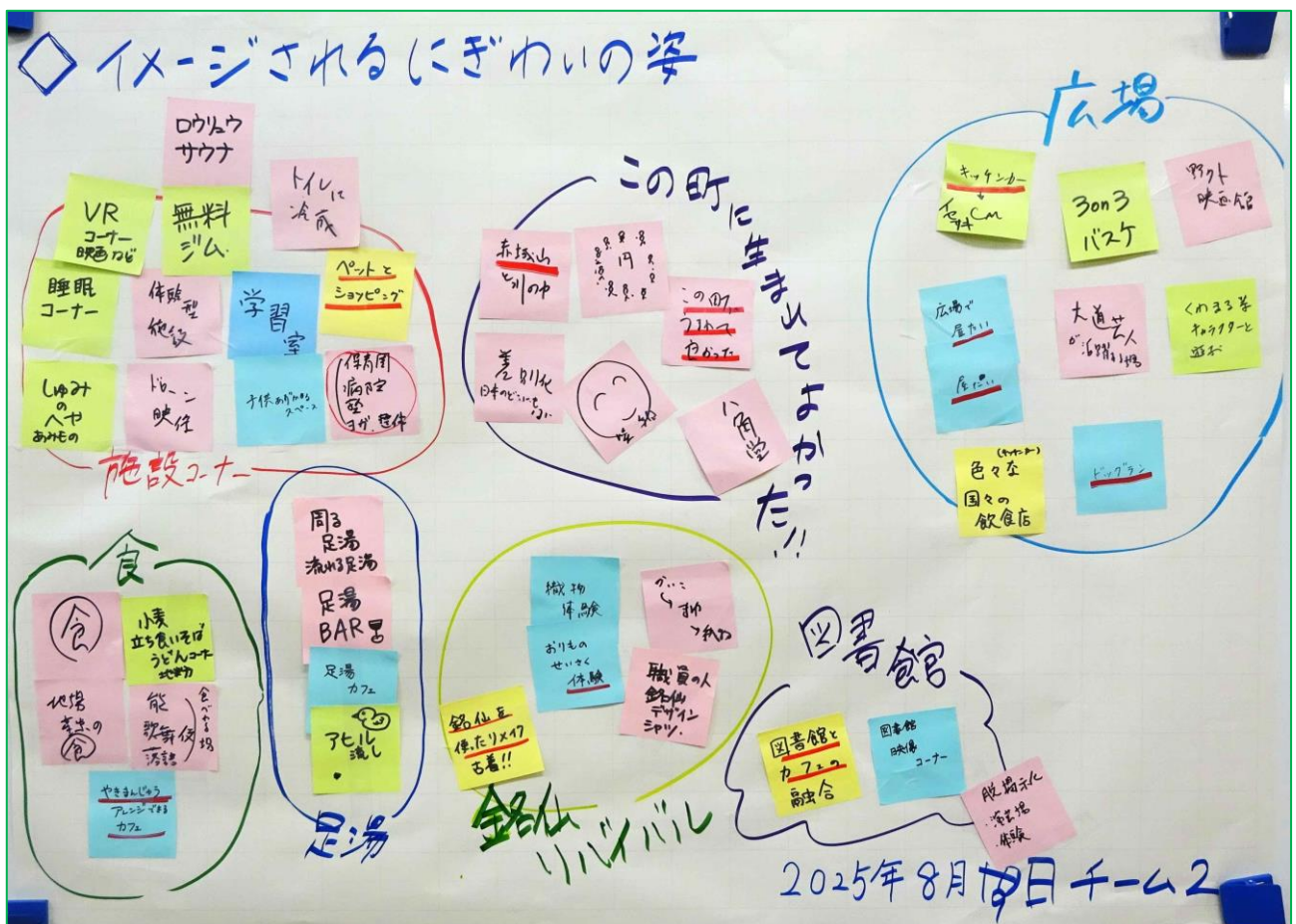
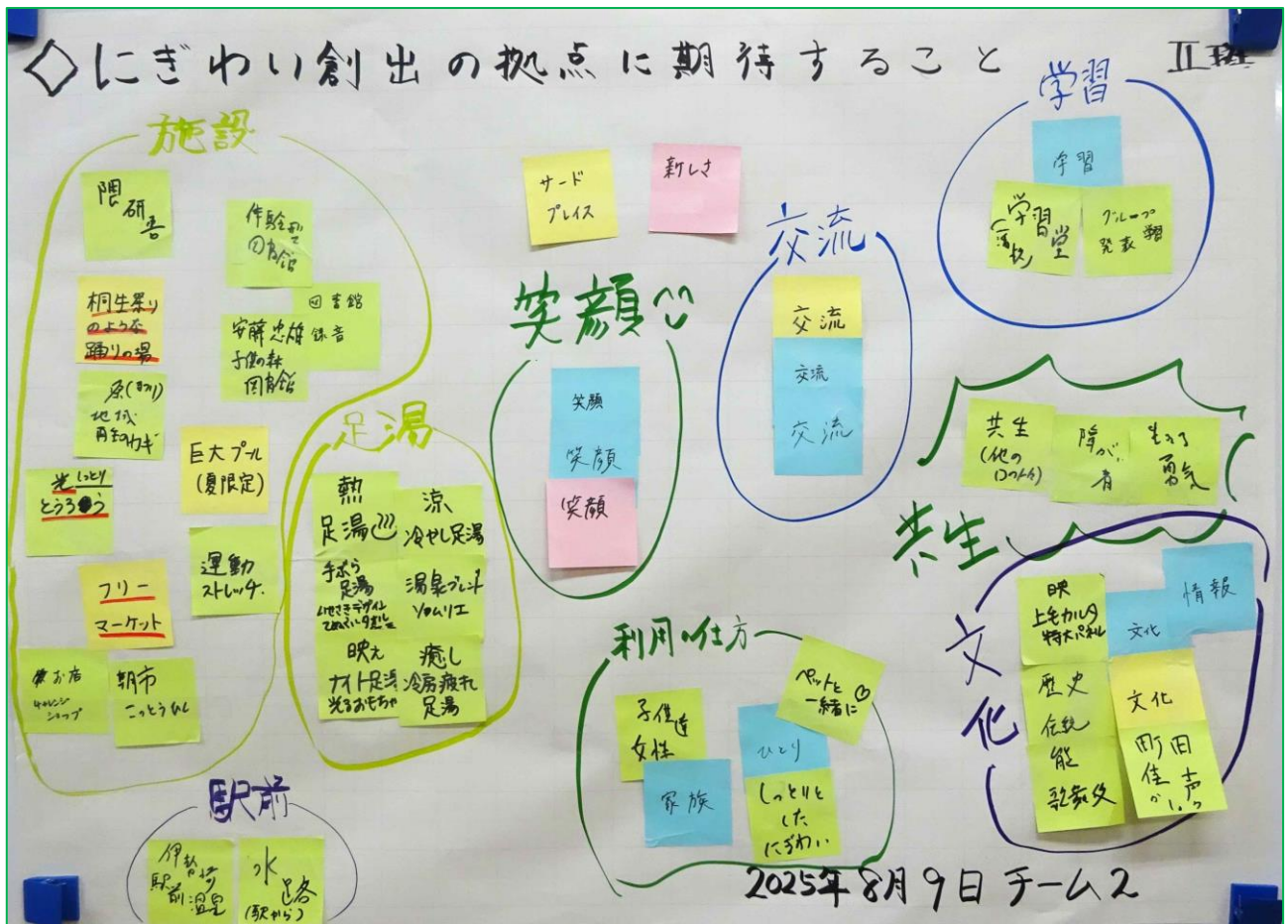
【賑わい創出拠点に“期待”すること】

- ✧ 期待するキーワード=>『笑顔』『交流』『学習』『共生』『文化・情報』
- ✧ サードプレイス(第3の自分の居場所)
- ✧ 利用の仕方…子どもたち、女性、家族、ひとりでも、ペットと一緒に 等
- ✧ 桐生祭りのように踊りの場として…/古着等のフリマ/ペットとショッピング
- ✧ 足湯(冷・温、ナイト足湯等)、駅前から拠点につながる水路、駅前温泉施設 等

【イメージされる賑わいの姿】

- ✧ 「この町に生まれてよかった」と感じられる空間を!!
- ✧ 図書館…カフェとの融合、学習室の充実、VR コーナー、体験型施設、睡眠コーナー、趣味の部屋、無料ジム 等
- ✧ 銘仙…銘仙リバイバル:織物体験、銘仙を使ったリメイク古着(SNS 映え) 等
- ✧ 屋外・広場…キッチンカーや屋台、ドッグラン、屋外映画館、くわまる等のキャラクターと遊ぶ、大道芸人が活躍する場、3on3 バスケット等
- ✧ 足湯(流れる足湯、足湯カフェ、足湯 BAR)
- ✧ 食(地粉をつかったうどんコーナー、やきまんじゅうカフェ)







【賑わい創出拠点に“期待”すること】

- ✧ にぎわいの要素…人がたくさんいること／気軽に訪れることができること／一人でも気まずくないこと=>そのためには「食」「買い物」「参加性」が必要!!
- ✧ イメージ:「会話・交流(世代を超えた交流)」「笑顔」「わくわく」「つながり」「行きやすいこと(交通の充実)」「懐かしさ」「多文化共生(外国人も愉しめる)」「暑さを活かす」等
- ✧ 拠点が生み出すもの…「経済の持続と発展」「伊勢崎を自慢できる」「全国から注目される」「子育てしやすい」「子ども一人で楽しめる」「ものづくり(織物)の町としての再生」
- ✧ 赤石楽舎と連動した拠点を…… 等

【イメージされる賑わいの姿】…発散したため集約・体系化されていませんが～

- ✧ 織物文化として…「文化継承だけでなく新たな文化として展開」「デジタル技術の活用」「銘仙を活かしたものづくりワークショップ・グッズの創出」
- ✧ 図書館…環境に配慮しオシャレな施設に(見栄えは大切!!)／勉強や仕事ができる空間・カフェ併設／イベント開催(映画鑑賞や読み聞かせ等)／本屋の併設／カフェ併設／外国人居住者の母国の本の充実／ソファの設置／著名人による講演会／開館時間の延長化・365 日開館／明るくて広いエントランス／みはらしの良い屋上空間／壁面活用 等
- ✧ 創業・チャレンジ…NPO 等が使える貸し会議室／創業の相談窓口／コワーキングスペース 等
- ✧ 屋外・広場…BBQ 広場／屋台・縁日／自然豊かな空間／スポーツ交流／音楽イベント・ステージ／パブリックビューイング／水遊び・噴水広場／手持ち花火 等
- ✧ その他…レンタサイクル／循環バスによる駐車場との連携／キッチンカーによる食の提供／伊勢崎駅からのアプローチに街路樹を!! 等



3 班

に子ゆいの西条

生まれるもの



イメージされる"にきわい"の姿

347E

織物文化

圖書館 牀情報

操業チャレンジ

